



リコーダーとポジティブオルガンによるコンサート Vol.8

奏

SOU



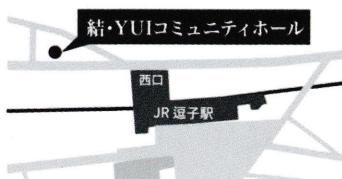
私たちの演奏です

Recorder : 大塚恵子
Positive Organ :
鈴木敦子

2025年6月28日(土)

15:30 開演 (15:00 開場)

結・YUIコミュニティホール



＜小さな木のホール・逗子＞

逗子市山の根1-3-13
JR逗子駅西口から左手に徒歩1分

チケット おとな 2000円
 こども 1000円

愛の喜び・愛の悲しみ

サマータイム

アフリカ組曲 No.18
「幸せの色」より

風の子供

アヴェ マリア

F. クライスラー

G. ガーシュイン

S. ジーク

中田 喜直

グノー / バッハ 他

メールはこちらから

E-mail : choral_117yas@ybb.ne.jp 080-1086-6585 Suzuki



奏 (sou)

光あふれる美しい風景への賛歌、神秘なるものへの信仰、人智を超えた自然への畏怖、日々の平穏な暮らしへの感謝…祈りや願いが古来より音楽を通して発せられ受け継がれてきました。

音楽は、絵画や文学の様に眼には残りませんが、時を超え場所を超え、色や香りや体温を持って音を通して私たちの心の深くに響きます。その響きが共鳴しあって共感を生み、私たちは穏やかで豊かな時間と空間を共に過ごすことができます。

「奏sou」には“演奏する者”と“聴く者”という垣根を超えて、
音楽と共に寄り添い（添うsou）
互いを想い合い（想sou）
そして希望や幸せの芽が創られたら（創sou）
という私たちの願いが込められています。

オルガンもリコーダーも‘風’（管に空気が流れること）によって音が創られます。

リコーダーの形はオルガンの管のひとつに似ていませんか？

互いの楽器の一部の様にアンサンブルしてみたい。そんな発想から私たちのデュオは始まりました。

どちらの楽器も古い時代の音楽を奏でるという印象が強いのですが、ルネサンス・バロックから現代作曲家の作品、ポピュラー音楽・ジャズなど様々な時代・ジャンルの曲に演奏の魅力を感じています。

Profile

リコーダー： 大塚恵子

大学でピアノを専攻、故 星野すみれ氏に師事。

リコーダーを大竹尚之、吉澤実、

声楽・古楽アンサンブル・演奏解釈を宇田川貞夫、各氏に師事。

現在、声楽、リコーダー、ピアノ演奏。

合唱指揮者、アンサンブル指導者として活動。

ポジティブオルガン： 鈴木敦子

オルガンを故 志村拓生、岩崎真実子、川越聡子、各氏に師事。

教会音楽を故 橋本周子、通奏低音を故 志村拓生、和声を柿沼唯、各氏に師事。

聖グレゴリオの家で学び、教会音楽家のDiplomを取得。

捜真バプテスト教会、関東学院大学オルガニスト。

♪リコーダー

誰もが一度は手にしたことのある身近な楽器ですが、その歴史は古く、ルネサンス・バロック時代には代表的な管楽器のひとつでした。

record（リコルド 古くは、さえずる・やさしく歌う）という言葉から名付けられたと言われています。

♪ポジティブオルガン

小型のパイプオルガン。

①パイプ②ふいご③鍵盤からなる楽器です。

教会や家庭に置かれて主にアンサンブルの楽器として活躍してきました。

2015 Suto Orgelbau
須藤オルガン工房制作
パイプ108本

